

令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第1回）

会議の概要

- 会 議 名 令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第1回）
- 開 催 日 令和6年4月26日（金曜日）
- 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、江戸川区、国土交通省
- 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 上空で安全上必要な操作を行っていることによって、騒音実測値が下がりにくい測定局があるとのことだが、安全対策はもちろん、騒音対策についてもできる限りの対策を講じてほしい。
⇒要望について承った。安全が最優先ではあるものの、騒音対策についても引き続き検討を行っていく。
- ・ 騒音値については住民の関心が高い。騒音の下がりにくい測定局について、ここ最近、同様の傾向が続いている。住民へ説明する上で、「安全上の操作」だけではなく、どのような操作なのか、分かりやすい説明を求める。また、今後の騒音軽減対策についても検討いただきたい。
⇒要望について承った。どの住民に対してもわかりやすい説明方法及び引き続き騒音軽減対策を検討する。
- ・ 引き続き騒音の負担軽減について、取組をお願いしたい。また、昨年秋に開催予定であった固定化回避検討会について、現在の検討状況を教えていただきたい。当区としては早期の開催、騒音軽減に資する対策を要望する。
⇒安全対策、騒音対策を引き続き行っていくとともに、引き続き丁寧な情報提供を実施していく。固定化回避検討会については、現在、安全性の検証を行っている最中である。安全性検討のリスク評価を決める過程において、A、C 滑走路の同時着陸を前提に検討をしている。着陸の際にカーブをする想定であるが、カーブの方法や技術的な可能性を確認中であり、様々なパターンを想定する中で、検証に時間がかかっている。次回の開催については現時点で具体的なスケジュールを申し上げることは難しいが、引き続き検証作業を進め、速やかに開催できるよう取り組んでいく。

以上